



# 平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：清水 裕 副会長：柏手 茂 幹事：森 誠司 クラブ会報委員長：瀬尾 光俊

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30  
会場 ブランドホテル神奈中 2F  
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内  
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2019年10月 3日 第 3226 回 週報第 3226 号

本日10月 3日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 38(36)名	出席率 59.38%			
前々回 9月 19日	会員数 63名	対象者 61名	出席者 34(32)名	出席率 53.97%	MUP 3名	計 37名	修正率 58.73%

## 本日の卓話者ご紹介

アトランタオリンピック野球  
チームキャプテン 中村大伸様



## 卓話

### 「東京五輪に期待するもの」

アトランタオリンピック野球  
日本代表主将 中村 大伸

本日は、皆様の期待にこたえられるような話ができるように精一杯やらさせていただきますのでよろしくお願いたします。そして、本日はアトランタの銀やアジア大会の金、甲子園の準優勝メダルをお持ちしました。ご覧いただければと思います。

さて、現在はNTT東日本に勤務して、次世代を担う少年野球の指導を行っています。来年は、日本でのオリンピック開催で既に日本代表に決定している選手、今まさしく代表決定の戦いの最中という選手といろいろかと思えます。東京で開催するオリンピックに私は3つのことを期待しています。

一つ目は、日本代表選手の闘う姿に応援し感動をしていただきたい。日本代表選手は、日の丸を背負い4年間集大成の結果出していくということをご理解いただきたい。

二つ目は、海外からの選手に対して「おもてなし」をどれだけ行うことができるか？日本の良さを伝えることができるか？と良い。

三つ目は、オリンピック後のパラリンピックが開催されます。障害を持っていても前向きに取り組む姿をぜひ見ていただきたい。

それでは、1996年に米国ジョージア州アトランタオリンピックの経験からお話しさせていただきます。約2か月前にキャンプ地に入り、現地で練習とオープン戦を行い、開会式の1週間前に選手村に入村します。選手村は、東京ドーム8個分くらいの莫大な広い敷地に国別に分かれています。開催期間中は、生活のリズム、マスコミの取材、国民のメダルへの期待などなどのプレッシャーがどんどん大きくなり、その重圧ははかり知れないものがあり、経験した者でないと理解できないと思います。

試合当日の行動についてお話しします。野球は、夜9時からの試合で当時は金属バットの使用が認められていたこともあり、ラグビーのような得点の試合となるものが多く、深夜12時ごろ試合終了、その後抜き打ちでドーピング検査、共同記者会見と試合が終わってもすぐ帰ることは出来ないのです。すべてが終わるのは、3時頃となり、それから選手村に向かいます。そのころには、午前のボクシングの選手などはシャドーボクシング行ったりと選手村には、24時間の様々な顔があります。そして、夕食から相当な時間が過ぎていたのでレストランに向かいます。レストランは、東京ドーム1個分ぐらいの広さで24時間各国のいろいろなメニューを食べることができます。今お話したような生活リズムで非常に体調管理は最も難しい事柄でした。



## 卓話者ご紹介

## 中村 大伸（なかむら だいしん）様

「1996年アトランタオリンピック野球銀メダリスト 日本代表主将。ポジションは外野手。横浜市立横浜商業高等学校では三浦将明（元中日ドラゴンズ投手）らとともに1983年春・夏甲子園連続準優勝。日本体育大学時代は首都大学野球リーグで首位打者1回、ベストナイン2回受賞。大学野球日本代表。世界選手権大会出場第3位。卒業後にNTT東京に入社。アトランタオリンピック野球一次予選3位通過で不本意な成績に終わるも、決勝トーナメント戦では精神的支えになりチームをまとめ決勝に進出、キューバには惜敗したものの、チームを銀メダルに導く。都市対抗野球大会10年連続出場など東京地区を代表する選手として活躍、現役引退後もNTT東日本でコーチを務めた。」

Wikipedia より

## 1996年アトランタ大会 日本、銀メダル キューバから9点奪う



◇1996年8月2日◇バルセロナ五輪3位決定戦  
米国戦

最後の最後まであきらめなかった。世界一のキューバ相手に、日本は挑戦者としてのファイトを捨てなかった。金メダルこそ取れなかったが、五輪決勝の舞台上で3アーチを含む9安打9得点。世界に誇れる銀メダルを手にした。

4番打者松中が意地を見せた。序盤で1-6とリードされ、だれもがキューバの圧勝を信じた5回、1点を返して2死満塁。スライダーをたたいた松中の打球は、左翼スタンドへ飛び込んだ。一挙に同点に追いつくグラウンドスラムに、日本人以外の観客も、スタンディングオベーションで松中を祝福した。

「このゲームがこのチームとしては最後だと思って打席に入った」。五輪前は、4番ながら、井口、福留に比べて注目度は低かった。予選で痛い1敗を喫した対豪州戦では5打数無安打。4番の責任を感じその日の夜から深夜の素振りを始めた。右手首を痛めるほど振り続けて最後に見せた4番の意地だった。「最高だった。悔いはない」。テーピングでグルグル巻きにされた右手で銀メダルを持つと、「重いですね」と、笑った。

7回、9回と2打席連発をマークした谷も言った。「9回は点差（6点）はあったが、負けたくなかった。最後の力を振り絞った」。米国を破ってつかんだ五輪ファイナリストとして、あっさり引き下がるわけにはいかなかった。

ゲーム終了後は、ナイン全員がひとみをうるませた。

そして、一次予選リーグ1勝3敗。4敗すると予選敗退となります。会場近くにファスナーなどの製造メーカーのYKKの現地事業所があり、邦人の方々には日本料理などをふるまっていたいただき、リラックスした時間を過ごすことができました。不本意ではありましたが、何とか3位で通過することができました。この年のメンバーは、日生の杉浦、阪神に行った福留、今岡、ダイエー松中、ロッテ井口、オリックス谷と役者ぞろいでした。私は、主将として予選通過後、決勝トーナメントに臨むミーティングを行いました。その際に投手の杉浦の言葉が印象に残っています。「ここからは、みんなでドラマを作るぞ。俺がすべて投げ切る」と言ったのにチームの全員が奮起、絶対勝つぞと全力で戦うことを誓いました。予選突破したのは、キューバ、アメリカ、日本の3チーム。当時キューバは、世界最強と言われていました。

さて、野手全員で、徹夜で相手の試合のビデオを徹底的に研究して投手の癖を見抜き11対2でアメリカに快勝。決勝戦の相手はキューバ、5回の松中の満塁アーチで6対6の同点したが、キューバの本塁打攻勢で最終回に2点を挙げるが、13対9で惜敗しました。決勝戦が終わってみんなもそうだと思いますが、負けた悔しさ0%、銀メダルを獲得した達成感30%、残りの70%は日の丸を背負ったプレッシャーから解放されたという安堵感でした。

ともに戦ったメンバーには、主将として感謝をしています。メンバーに共通して言えることは、物おじしない、空気が読めない、一心不乱、勝つためには労をおしまない。そして、普段はバラバラですが、一步グラウンドに入るとスイッチが入り野球に情熱を傾ける素晴らしい仲間と野球ができたことは、野球人生に残る経験でした。後に川島監督にどういった人選でどうして私が主将かと尋ねる機会があり、いかなる状況でも動じないメンタルの強いことを条件で選抜したと聞き期間中のプレッシャーに打ち勝ち、コンディションを保持し、試合のできることに聞き妙に納得をしました。

最後に来年のオリンピックで聖火ランナーとして、200m走ることとなりました。どの区間を担当するのか未定ですが、平塚を走ることとなりましたら、ぜひ応援のほどをお願いいたします。



左) 高校野球準優勝メダル  
中) アトランタオリンピック野球銀メダル  
右) アジア大会金メダル



五輪初体験の福留は「悔しくて泣けてきた。でも自分の選んだ道が間違っていなかった」と、感激。井口も「メダルは宝になります」と、銀メダルをみつめた。「予選は苦しかったが、みんなではい上がってつかんだ銀メダル。選手の働きは金メダルと同じだ」。川島監督はキューバから9点を奪った選手の精神力を褒めたたえた。【浦田由紀夫】

web サイト日刊スポーツより  
[http://beijing2008.nikkansports.com/baseball/history/jp\\_history1996.html](http://beijing2008.nikkansports.com/baseball/history/jp_history1996.html)



○雑誌委員会 永瀬剛司副委員長

雑誌委員会報告10月号紹介

1. 当月の特集記事のメインとして、マローニーRI会長夫妻来日記事が横書きP7~18にあります。その中で当地区の北鎌倉女子学園インターアクトクラブの加盟認証伝達式が紹介されています。マローニー夫妻が伝達式に参加され、杉崎ガバナーと一緒に認証状を渡された記事です。

2. また、学友会紹介の特集記事もあり、その中でかながわ湘南RCの学友会活動も紹介されています。



「ロータリーの友」10月号のご紹介をする永瀬雑誌副委員長

○プログラム委員会 三荒弘道委員長

今日は夜間例会で中村大伸様をお迎えしてお話をこれからして頂きますが、10/10は米山月間という事で、当クラブでお預かりしている丁煥哲君に米山の話をして頂きます。どうぞご出席の程、宜しくお願い致します。

幹事報告

◎10月04日(金)18:30より第2回長期計画委員会が商工会議所第4会議室にて開催されます。

メンバーの方はお集まり願います。

◎10月07日(月)地区大会親睦ゴルフコンペが相模原ゴルフクラブにて開催されます。

清水雅広会員、鈴木忠治会員、飯塚和夫会員、又城雅弘会員、小林誠会員が参加されます。

◎インターアクト年次大会が開催されます。

日 時:11月23日(土/祝日)10:00点鐘 15:00 閉会式  
 場 所:神奈川県立弥栄高等学校  
 登録料:一人 3,000円  
 登録締切:10月18日(金)

委員会報告

○成瀬正夫会場監督

会場監督から一言ご報告します。今日のお昼の時間です。小泉さんと升水富次郎さんが来まして、二人で承知で来たのかそれとも勘違いで来たのか分かりませんが、下で食事をして楽しく帰ったそうです。

メイクアップ (MUP) 3名

小林誠会員、常盤卓嗣会員、升水一義会員

本日のスマイル 15名

ゲスト 1名

アトランタオリンピック野球  
 チームキャプテン中村大伸様

ビジター 0名

卓話・行事予定

10月10日(木) 米山奨学生 丁煥哲さん  
 10月17日(木) → 10月20日(日)地区大会へ移動例会  
 10月24日(木) 神奈川動物愛護センター所長 土肥富有子様  
 10月31日(木) 休会

市内例会変更 現在ございません。

